

## 第3章 都営新宿線（本八幡～新宿）

### 第1節 本八幡～馬喰横山

本八幡(10:58)～篠崎(13:00)～瑞江(13:30)～一之江(14:15)～船堀(15:00)～東大島(15:30)～大島(15:45)～西大島(16:06)～住吉(16:21)～菊川(16:34)～森下(16:47)～浜町(17:05)～馬喰横山(17:18)

第230回目のウォーキングは、平成20年4月26日(土)曇り空の中実施。朝セブンの散歩を8時前に済ませ天気予報を確認して急遽思いつく。コースは迷うが、最終的には本八幡から新宿までの都営新宿線(23.5Km)を選定する。本日は8時半より長野市で五輪聖火リレー(18Km位)がある。この間を十数名で走る。第一走者は星野仙一氏とのことである。ウォーキング準備のためにNHK中継を見られず。自宅を8時50分出、中央林間まで歩く。

中央林間9時23分発の電車で新宿駅へ。そこから都営新宿線に乗り継いで本八幡駅に移動する。運良く新宿で本八幡行の急行(10時5分)に乗ることができる。本八幡駅には11時前に到着。改札口前の現在地を確認して、A1出口からでる。その通りを真っ直ぐ左に進めばいいところを右に200m位進んで右折する。結局方向を大きく誤り、JR線に沿ったつたい歩き(千葉街道:14号)となる。この辺りは総武線踏破の際歩いたような気もするが、はっきり思い出せない。平田・新田という地名が出てくる。極めつけは市川駅が11時半頃登場する。何故都営新宿線に駅がないのだろうかとの疑問も感じたくらいである。駅前の自転車整理の年輩の方に「篠崎駅はどちらの方向ですか」と尋ねたところ予期もせぬ回答がある。「本八幡駅に戻り地下鉄に乗りなさい」との応対であった。それで私の趣旨を理解して頂きおよその方向を教えて頂く。方向が大きくずれていた。しかし、真っ直ぐ行って橋を渡っても行けるとのをお伺いし少し安堵する。11時48分、市川市市川2丁目の交差点を通り、11時51分江戸川(市川橋)を渡る。左200m位のところにJR線(総武線江戸川橋)が、右手300m位のところに京成線があった。篠崎近郊の地図を見るが、JR線が登場しない。依然疑心暗鬼が続く。市川橋手前の通行人の方にも聞く。「ここは千葉、篠崎は東京で、相当遠いですよ。橋を渡り江戸川に沿って歩ききなさい。」との回答であった。橋を渡った先に篠崎街道(12時20分)の道路標識を見つけ少し安堵する。篠崎街道交差点でも聞く。「歩くのですか。バスで行った方がいいですよ。相当遠いですよ。」との回答であった。とりあえず篠崎街道を直進することにする。まもなく行くと江戸川の土手が現れる。12時25分頃土手に上がる。ここで初めて自分の進路が大きくずれていたことに気づく。後方700m位先にJR線があった。はるか遠く(2から3Km)に本来通るべき江戸川大橋があった。20

分程度江戸川土手を歩く。川沿いの中洲には江戸川グランドが広がっていた。沢山の方がスポーツを楽しんでいた。12時45分、土手の看板を見、篠崎駅に近しと感じ土手を降りる。その先に富士宮に本宮をもつ浅間神社前を通過。土手を降りても2名の方に聞く。篠崎駅に13時やっと辿りつく。篠崎駅到達までに通算7から8人の方にご厄介となりやつのことで篠崎駅に到達できる。感謝感謝の気持ちで一杯であった。敗因は千葉県の地図は持参していたが、地下鉄まで明示した地図ではなかったことである。それから篠崎の位置関係を掌握していなかったことである。人生勉強を改めてさせてもらった。



駅前の交番で道筋を聞く。駅前には吉野家があったが減量中なのでパスする。瑞江駅への路においても、信号待ちの人にグッドタイミングで聞く機会を得て難を逃れる。誤って直進しようとしていた。正解は交差点も右折した路を真っ直ぐ行った先にあるとのことであった。瑞江駅には13時30分到着。この駅の交番でも一之江駅の道筋をお尋ねする。この駅前にも吉野家がある。お昼から1時間半程度過ぎていたのでかなり空腹感を覚える。それで家から持参したお菓子を行儀は悪いが歩きながら昼食代わりに食べる。時間を節約するためでもある。それから本八幡から篠崎までの2.8Kmに120分も要したのを少しでも挽回する意味もあった。13時39分、下鎌田あじさい公園（遊歩道）を通過。花壇には色んな花が咲いていた。13時55分、明福寺ルンビニー学園（幼稚園・保育園）前を通過。ここでも新中川に加え旧江戸川が登場し自分の進路に不安を感じ2名の方に一之江駅を尋ねる。途中一之江行きの乗り合いバスが後方からきて、これからの進路方向が判明する。14時10分、新中川（瑞江大橋：257歩）を渡る。左手には新今井橋、右手には明和橋があった。一之江駅（14時15分）は瑞江大橋を渡った先の今井街道に面してあった。



ここから船堀駅の方向もわかりにくかったため、3名の方に尋ねながら進む。駅前の交差点を右折し新大橋通り（都道 50 号）に出る。この通りは両親等を平成 17 年に明治座に招待したとき、待ち時間を利用し、大島から浜町まで歩いたので微かな記憶があった。14 時 33 分、都立葛西工業高校前を通過。その先に東急ストア（14 時 42 分）があった。14 時 45 分、三島橋交差点で一之江境川親水公園（遊歩道）を通過。この近郊で松江六丁目の地名と対面する。第 2 児童遊園が右手直ぐにあった。先程の通行人の方に教えて頂いた印象的な塔が目に入る。地上 50m の高さ位あったかも知れない。新大通りを左折し船堀通りを 200m 位歩く。15 時船堀駅に到着。篠崎駅・瑞江駅・一之江駅そして船堀駅どれも築 10 年位の立派な駅前ビルの中に駅舎があった。

船堀駅で雨模様となる。ここでアップも考えたが、時間がまだ 15 時なので歩きを継続する。再度新大通りに戻る。15 時 12 分、中川・荒川を渡る。地図で初めて中川・荒川が並んで流れているのを知る。中川と荒川の間には橋桁 10m 位ある道路が続いていた。中川は万歩計で 264 歩、荒川は 875 歩あった。中川・荒川を渡る際、上るときも下るときも歩道橋の階段を要求された。国道のように新大通りと一体化になっていれば楽なのであるが。



東大島駅には 15 時 30 分到着。小松川の上に駅があった。すぐ近くに都立大島小松川公園もあった。雨はいつの間にか止んでいた。歩道橋の階段を上り新大通りに戻る。



大島駅



西大島駅 住吉駅

大島駅は丸八通りを越えた先にあり、大島駅入口前には見た覚えのあるラーメン大学があった。16時2分、ダイエー・LOAX前で運良く人盛りのあるイベントに直面する。数十名のメンバーからなる太鼓に合わせて踊る数名の女性の水着姿を前面に出した大島商店街の宣伝があった。百人程度の通行人が群がっていた。16時6分明治通りに面して西大島駅があった。駅前には印象的な松が一本あった。ここでも吉野家があった。それからすき家や壺番屋のカレーハウスも現れ食欲を掻き立てる。腹の虫が泣くが減量達成のため我慢する。16時15分、本村橋の先に住吉駅（16時21分）があった。



菊川駅 森下駅



隅田川



浜町駅

四ツ目通り（16時22分）と三つ目通りの間に菊川橋（16時30分）と菊川駅（16時34分）があった。16時46分、清澄通りの先に森下駅（16時47分）があった。ここで3年前の記憶が働き地図を確認する。それは新大橋を渡った先から浜町駅は新大通りから外れる記憶があったからである。予想通りであった。16時55分、隅田川を渡ろうとすると、水上バスが通過してゆく。橋の向こうには東横インが目に入る。浜町には17時5分到着。この駅は感無量の駅である。父との東京最後の思い出となる場所のひとつでもあったからである。3年前に両親等連れてきてあげた明治座前のある清洲橋通りを歩く。馬喰横山駅には17時18分到着。この近郊のミニミニショップ（東日本橋3丁目店）で乾電池とあんぱんを購入する。空腹を満たすためと巨人＝阪神戦を聞きながらウォーキングをしようと考えたからである。しかし、残念ながら本格的な雨模様となり、馬喰横山でアップする。父親が「夜道は危険」とのことのでめてくれたのかもしれない。ナイターを帰りの電車で聴くが、上原が足を引っ張り2対6で破れる。本日勝てば5割復帰であったのに。少し勉強のため2軍で勉強が必要かもしれない。新宿17時55分の快速急行で中央林間へ。中央林間から歩いて自宅に。自宅には19時24分到着。本日の営業キロは15.4Km、万歩計は48,431歩だった。



馬喰横山駅



岩本町駅

## 第2節 馬喰横山～新宿

馬喰横山(14:15)～岩本町(14:37)～小川町(14:46)～神保町(15:00)～九段下(15:15)～市ヶ谷(15:50)～曙橋(16:20)～新宿三丁目(16:52)～新宿(17:10)

平成12年5月3日からはじめたウォーキングも早いもので、平成20年5月17日(土)で233回の挑戦となった。本日の営業キロも含め通算4,493.3Kmとなり、4,500Kmに7kmと迫った。本日は同時に向ヶ丘遊園から引越して丁度27年となる。午前中は8時半より、自宅から南林間、中央林間、東林間、相模大野、町田、小田急相模原経由で自宅までジョギング。走行距離は16Km位か。タイムは120分程度。半年で15Kgの減量に成功したのでジョギングも2時間程度の持続はできるようになった。最近思うのであるが、体は借り物であるということを感じることである。また、ウォーキング終了後、夜は家内と3男の三人でつきみ野サティーにレイトショー(相棒)を見に行く。そういう意味で盛り沢山の一日となった。

ジョギング後昼食を自宅で摂り、中央林間12時58分の電車で都営新宿線の馬喰横山に向かう。運良く新宿駅で本八幡行きの急行(14時3分)に乗ることができたので馬喰横山駅には14時15分に到着することができた。本日は久しぶりに五月晴れに恵まれ、古本屋が並ぶ靖国通りには沢山の人が出ている。以下の行程で新宿まで歩く。

馬喰横山(14時15分)→岩本町(14時37分)→小川町(14時46分)→九段下(15時15分)→市ヶ谷(15時50分)→曙橋(16時20分)→新宿三丁目(16時52分)→新宿(17時10分)



小川町駅 神保町駅

また、新宿駅までの行程で印象に残ったのは次の通り。岩本町駅は水天宮通りに面してあった。14時40分JR線下を潜った先に小川町駅があった。この駅は丸の内線の淡路町駅に隣接しており、少なくとも丸の内線踏破の際来たのを思い出した。神保町駅は白山通りに面していた。神保町駅手前で数年前金融工学の専門書を購入した三省堂の本店があった。15時10分、万歩計で47歩の俎橋を通過。靖国通りに面して九段下駅近郊に7階建ての昭和館(10時から17時半、月曜日休館:入場料300円)と武道館がある

北の丸公園があった。こんな場所に東京理科大学があるのも 30 数年ぶりに気がついた。反対側の道路に面して靖国神社があった。この近郊は昭和 48 年入社当時この界隈に勤務していたので懐かしい記憶が蘇ってきた。15 時 25 分、トイレ休憩で北の丸公園に立ち寄る。



九段下駅 武道館



市ヶ谷駅 曙橋駅

15 時 59 分、市ヶ谷橋を通過。神田川では沢山の釣り人がいた。市ヶ谷橋を渡った先に亀岡八幡宮（16 時 2 分）と従兄弟の披露宴会場（平成 3 年）となったグランドヒル市ヶ谷（16 時 4 分）があった。市ヶ谷の防衛省を過ぎた先には、中央大学市ヶ谷キャンパス（16 時 14 分）があった。この界隈も独身時代余丁町に住んでおりバスで通過した経路なので懐かしかった。かつては中央大学のキャンパスはなかったと思われるが。曙橋から抜け弁天にかけた通りも大きく変身していた。かなりの店が立ち退きして道路は 2 倍程度の広さになっていた。16 時 30 分、市ヶ谷富久町（とみひさ）の住居表示箇所には成女学園があった。16 時 42 分、東京厚生年金前には沢山の若者の姿を見る。パークシティの交差点から靖国通りを離れ、都営新宿線に沿って歩く。新宿駅には 17 時 10 分到着。新宿南口には沢山の若者の姿があった。新宿に着くや否や少し水滴を感じるが雨にはならず。



新宿三丁目駅 新宿駅

新宿からは快速急行 17 時 25 分で中央林間駅へ。そこから約 2.5Km をウォーキングして自宅へ。自宅には 18 時 45 分到着。本日の営業キロは 8.1Km、万歩計は 25,133 歩となった。本日初めてジョギングとウォーキングの両方に挑戦した。通算ではジョギングが 16Km、ウォーキングが 13Km で体にはいい栄養剤を注入することができた。愛犬セブンも朝夕散歩につれていくことができたし、更には夜家族でレートショーを見る時間がとれ実りある最高の日となった。同時に相棒の映画を見て東京マラソンに興味を抱く一日でもあった。

## <参考>

2005 年 9 月 18 日（日）、両親等の明治座芝居見物終了までの待ち時間を利用して、東武亀戸線（東武曳舟＝東武亀戸：3.4Km）と都営新宿線（大島＝浜町：4.2Km）に挑戦する。昨日は長男が白金の아트グレイスで結婚式・披露宴を挙げる。昨日の感動の余韻が覚めないまま、9 時過ぎに両親等を芝の春日旅館に迎えに行き、東京タワーと増上寺で写真撮影後、浜町の明治座にタクシー 2 台で向かう。日曜日のため、道路が空いていたため、予想以上に早く明治座に到着する。10 時過ぎであった。両親等は藤田まこと主演の浮草（人生まわり舞台）の芝居見物。11 時開演、終演は 15 時であった。その間、4 時間強の空き時間を利用して、明治座近郊の鉄道のつたい歩きをする。昨日に引き続き、本日も秋晴れであった。少し熱い位だった。都営新宿線で馬喰横山まで移動し、都営浅草線に乗り換え、京成曳舟駅まで移動する。この駅の到着時間は、10 時 55 分だった。そこから、7 分歩き、東武京成駅には 11 時 2 分到着。京成押上線が絡み、東武亀戸線を探すのに苦労した。押上駅の近郊に行ったので、通行人に行き亀戸線の道筋を聞く。300m 位左折して直進すると、亀戸線の踏切が見えた。踏切近郊では秋祭りが終わりこれから打ち上げに向かう人達と出会う。何回かの袋小路をぬぐって、小村井駅（おむらい）には 11 時 45 分に着く。東あずま（11 時 55 分）、亀戸水神（12 時 10 分）、亀

戸には12時45分到着。途中、亀戸駅前の珍来で昼食。下町の情緒があり、とてもよかった。亀戸線（複線）の電車は2両編成でワンマンカーであった。



※曳舟駅



※小村井駅、東あずま駅

## <都営新宿線>

～東武亀戸線踏破後の歩き～

亀戸駅からは、明治通りを歩き、新大橋通りに出て直進して、浜町を目指す。途中、大島、住吉（13時15分）、菊川（13時32分）、森下（13時45分）を経て、浜町には14時10分到着。コンビニに間食を買い、明治座前の公園で一服する。1時間位のんびりした。両親等と15時15分合流し、自宅を目指す。新宿16時20分のロマンスカーで帰る。自宅には17時30分到着。万歩計は31,135歩だった。